

業務報告書

第80期

2023年4月1日～2024年3月31日



この街と生きていく。もっと大きくあなたの未来

倉吉信用金庫

KURAYOSHI SHINKIN BANK

ごあいさつ

向暑の候、会員の皆様にはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

ここに当金庫第80期の事業概要と決算状況をご報告するに当たり、日ごろのご支援とご愛顧に対し、心から厚くお礼申し上げます。

さて、令和5年度までの3年間は新型コロナウイルス感染症への対応に終始した期間でありました。日本経済は、引き続き景気回復局面にありますが、力強い回復は予想し難い状況にあります。

日本銀行は、3月に2%の物価安定の目標が持続的・安定的に実現していくことが見通せる状況に至ったとの判断を示したうえで、マイナス金利解除の金融政策正常化措置を決定しました。IMF（国際通貨基金）の世界経済見通しも、3%程度の緩やかな成長が続くことを見込んでおります。

しかしながら海外では、米国を始めとする海外経済を巡るリスクやウクライナ、中東諸国等の地政学リスクが顕在化しており、日本国内では、円安により輸入商品の値上がりが進むなかで、賃金の上昇が物価上昇に追い付かず、個人消費を抑制するのではと懸念されています。

鳥取県内の経済情勢は、製造業のほとんどの業種で、原材料費等の高騰が継続しており、受注減少に影響するなど厳しさを増しております。非製造業では人流が増加して、観光業関連を中心に業況は好転しつつあるものの、ガソリン価格ははじめとする物価の高騰が消費マインドの低下に繋がっており、小売業関連を中心に厳しい状況が続いています。

そのようななか、当金庫は、鳥取県中部地区を主たる経営基盤とする唯一の金融機関であり、「地元と共に生きる」を経営理念とし、企業の資金繰り支援はもちろんのこと、創業支援、企業再生支援、コンサルティング機能の発揮等に注力し、地域貢献に誠心誠意努めてまいりました。

当金庫は本年4月から「くらしん『未来を拓く変革への挑戦』3カ年計画」をスタートさせました。

倉吉信用金庫の目指すべき姿は、3つの使命（①お客さまの成長、②職員の幸せ、③地域社会づくり）を果たすため、会員、お客さま、そして地域のすべての人の成長と幸せのために行動し、協同組織の地域金融機関として地域が抱える課題解決に貢献するとともに、金庫を構成する職員が幸せや喜びを実感できる組織を目指してまいります。

社会・経済が多岐にわたり変化するなか、地域金融機関には迅速な対応が求められています。金融仲介機能に加え、取引先への本業支援や付加価値を伴う提案を行っていくことで地域に貢献してまいります。

今後とも倍旧のご支援ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます、ご挨拶と致します。

令和6年6月

理事長 笠見和則

企業理念

基本理念

地元と共に生きる

経営理念

1. 信 頼 倉吉信用金庫は、法令やルールを遵守すると共に社会的規範を全うするため、法令等遵守を経営の最優先課題と位置づけ、誠実かつ公正な業務運営を行います。
1. 変 革 倉吉信用金庫は、時代の変化や、地域の要請を的確に捉え、迅速に対応するため、積極かつ堅実な経営を行います。
1. 地域貢献 倉吉信用金庫は、地域のすべての企業、勤労者、家庭の繁栄と幸せをもたらすため貢献します。

経営方針

倉吉信用金庫の創業の原点である相互扶助の精神を大切に、「地域の為に貢献する」という使命感を再認識し、今こそ地域社会の再生と活性化を目指し「使命共同体」としてその中核となつて、中小零細な地元企業の支援、地域住民の豊かな生活の向上、活力ある地域社会の実現に向けて貢献していきます。そのために強固な経営基盤をさらに確固たるものにし、“小さくても最良のくらしん”を実現します。

行動基準

1. 礼 儀 我々は、礼儀を基本とした誠意ある行動で、地域からの信頼を高めます。
2. 元 気 我々は、健康管理を怠らず、明るく、気みなぎる行動で、地域からの共感を受けます。
3. 向 上 我々は、自己啓発を心掛け、仕事に創意を生かし、顧客の満足度を高め地域に奉仕します。

第 80 期
貸 借 対 照 表

2024年3月31日現在

科 目	金 額	科 目	金 額
(資 産 の 部)	百万円	(負 債 の 部)	百万円
現 金	1,810	預 金 積 金	86,733
預 け 金	35,253	当 座 預 金	2,129
買 入 金 銭 債 権	41	普 通 預 金	34,130
有 価 証 券	12,073	貯 蓄 預 金	57
国 債	793	通 知 預 金	85
地 方 債	3,705	定 期 預 金	47,133
社 債	5,567	定 期 積 金	2,954
株 式	565	そ の 他 の 預 金	242
そ の 他 の 証 券	1,440	借 用 金	56
貸 出 金	42,122	借 入 金	56
割 引 手 形	130	そ の 他 負 債	246
手 形 貸 付	1,193	未 決 済 為 替 借	30
証 書 貸 付	37,459	未 払 費 用	70
当 座 貸 越	3,338	給 付 補 填 備 金	1
そ の 他 資 産	655	未 払 法 人 税 等	1
未 決 済 為 替 貸	24	前 受 収 益	8
信 金 中 金 出 資 金	490	払 戻 未 済 金	0
前 払 費 用	4	職 員 預 り 金	33
未 収 収 益	131	リ ー ス 債 務	70
そ の 他 の 資 産	4	そ の 他 の 負 債	30
有 形 固 定 資 産	719	賞 与 引 当 金	23
建 物	113	役 員 退 職 慰 労 引 当 金	84
土 地	507	偶 発 損 失 引 当 金	55
リ ー ス 資 産	52	睡 眠 預 金 払 戻 損 失 引 当 金	1
そ の 他 の 有 形 固 定 資 産	46	再 評 価 に 係 る 繰 延 税 金 負 債	71
無 形 固 定 資 産	2	債 務 保 証	981
ソ フ ト ウ ェ ア	0	負 債 の 部 合 計	88,256
そ の 他 の 無 形 固 定 資 産	1	(純 資 産 の 部)	
前 払 年 金 費 用	123	出 資 金	667
繰 延 税 金 資 産	100	普 通 出 資 金	667
債 務 保 証 見 返	981	利 益 剰 余 金	4,152
貸 倒 引 当 金	△621	利 益 準 備 金	668
(うち個別貸倒引当金)	(△458)	そ の 他 利 益 剰 余 金	3,483
		特 別 積 立 金	3,162
		当 期 未 処 分 剰 余 金	321
		処 分 未 済 持 分	△0
		会 員 勘 定 合 計	4,819
		そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	6
		土 地 再 評 価 差 額 金	180
		評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計	186
		純 資 産 の 部 合 計	5,006
資 産 の 部 合 計	93,262	負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計	93,262

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

第 80 期
損 益 計 算 書

2023年4月1日から
2024年3月31日まで

科 目	金 額
	千円 千円
経 常 収 益	1,171,408
資 金 運 用 収 益	982,869
貸 出 金 利 息	849,929
預 け 金 利 息	47,073
有 価 証 券 利 息 配 当 金	76,514
そ の 他 の 受 入 利 息	9,352
役 務 取 引 等 収 益	82,031
受 入 為 替 手 数 料	31,681
そ の 他 の 役 務 収 益	50,350
そ の 他 業 務 収 益	11,009
そ の 他 の 業 務 収 益	11,009
そ の 他 経 常 収 益	95,498
貸 倒 引 当 金 戻 入 益	84,595
償 却 債 権 取 立 益	5,131
株 式 等 売 却 益	4,633
そ の 他 の 経 常 収 益	1,138
経 常 費 用	870,344
資 金 調 達 費 用	29,039
預 金 利 息	27,085
給 付 補 填 備 金 繰 入 額	66
借 用 金 利 息	1,703
そ の 他 の 支 払 利 息	183
役 務 取 引 等 費 用	119,427
支 払 為 替 手 数 料	10,343
そ の 他 の 役 務 費 用	109,084
そ の 他 業 務 費 用	5,230
国 債 等 債 券 償 還 損	5,230
経 費	688,729
人 件 費	357,587
物 件 費	298,715
税 金	32,426
そ の 他 経 常 費 用	27,917
貸 出 金 償 却	7,978
株 式 等 売 却 損	1,695
そ の 他 の 経 常 費 用	18,244
経 常 利 益	301,064
特 別 利 益	—
特 別 損 失	—
税 引 前 当 期 純 利 益	301,064
法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税	1,553
法 人 税 等 調 整 額	27,473
法 人 税 等 合 計	29,026
当 期 純 利 益	272,037
繰 越 金 (当 期 首 残 高)	49,955
当 期 未 処 分 剰 余 金	321,993

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

第 80 期 剰 余 金 処 分

2023年 4 月 1 日から
2024年 3月31日まで

科 目	金 額
	円
当 期 未 処 分 剰 余 金	321,993,210
積 立 金 取 崩 額	400,000
利 益 準 備 金 限 度 超 過 取 崩 額	400,000

これを下記のとおり処分します。

科 目	金 額
	円
剰 余 金 処 分 額	276,709,816
普通出資に対する配当金(年4%)	26,709,816
特 別 積 立 金	250,000,000
繰 越 金 (当 期 末 残 高)	45,683,394

上記のとおり報告いたします。

2024年 6 月 27 日

倉吉信用金庫

理 事 長	笠 見 和 則	理 事	谷 口 宗 弘
常務理事	藤 井 和 啓	理 事	倉 都 祥 行
常務理事	安 藤 正 樹	理 事	山 田 悌 次
常勤理事	船 越 清		
常勤理事	吉 田 孝 宏		
常勤理事	伊 澤 茂 雄		

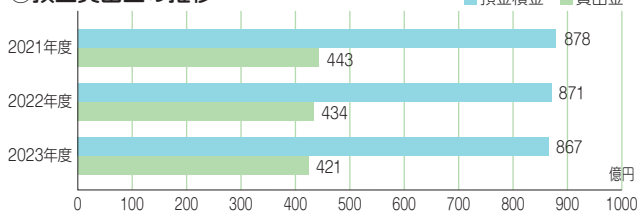
前記各項目を精査しその正確なることを認めます。

2024年 6 月 27 日

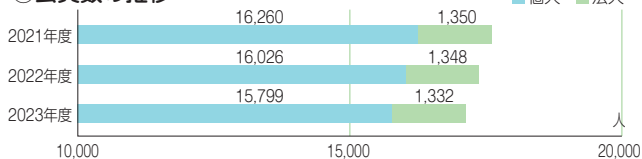
常勤監事	綱 本 栄	員外監事	松 井 幹 雄
		監 事	松 本 美恵子

業 績 の 推 移

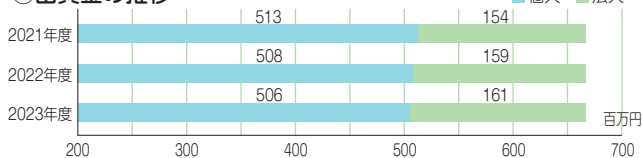
○預金貸出金の推移



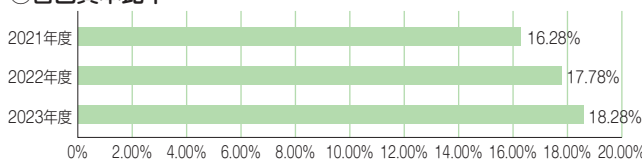
○会員数の推移



○出資金の推移



○自己資本比率



○信用金庫法開示債権及び金融再生法開示債権の保全・引当状況

(単位：百万円)

	2022年度	2023年度
金融再生法上の不良債権 (A)	3,892	3,550
破産再生債権及びこれらに準ずる債権	1,154	1,042
危険債権	2,306	2,080
要管理債権	430	427
三月以上延滞債権	—	—
貸出条件緩和債権	430	427
保全額 (B)	3,582	3,198
担保・保証等 (C)	2,772	2,659
貸倒引当金 (D)	810	539
保全率 (B) / (A) (%)	92.04	90.09

1. 「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」とは、破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の中立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。
2. 「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権で、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」に該当しない債権です。
3. 「要管理債権」とは、信用金庫法上の「三月以上延滞債権」に該当する貸出金と「貸出条件緩和債権」に該当する貸出金の合計額です。
4. 「三月以上延滞債権」とは、元本又は利息の支払が約定支払日の翌日から三月以上遅延している貸出金で、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」及び「危険債権」に該当しない貸出金です。
5. 「貸出条件緩和債権」とは、債務者の経営再建等を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、元本の返済猶予、債権放棄その他の債務者に有利となる取決めを行った貸出金で、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」及び「三月以上延滞債権」に該当しない貸出金です。
6. 「担保・保証等による回収見込額」は、自己査定に基づいて計算した担保の処分可能見込額及び保証による回収が可能と認められる額の合計額です。
7. 「貸倒引当金」には、正常債権に対する一般貸倒引当金を除いて計上しております。
8. 「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」及び「正常債権」が対象となる債権は、貸借対照表の「有価証券」中の社債（その元本の償還及び利息の支払の全部又は一部について保証しているものであって、当該社債の発行が有価証券の私募（金融商品取引法第2条第3項）によるものに限る。）、貸出金、外国為替、「その他資産」中の未収利息及び仮払金並びに債務保証見返りの各勘定に計上されるもの並びに注記されている有価証券の貸付を行っている場合のその有価証券（使用貸借又は賃貸借契約によるものに限る。）です。

庶務の概要

〔総代会〕

2023年 6月29日	当金庫本店において第79期通常総代会を開催、下記議案を付議し、原案通り承認可決されました。
第1号議案	第79期剰余金処分について
第2号議案	会員の法定脱退について
第3号議案	営業区域の定款の一部変更について
第4号議案	羽合支店の出張所化に伴う定款の一部変更について
第5号議案	理事の選任について
第6号議案	退任役員に係る役員退職慰労金の支給について

〔理事会〕

期中において理事会を監事同席のもと年間12回開催しました。

〔監事会〕

定例監査を実施したほか監事会を年間4回開催しました。

〔登記に関する事項〕

2023年 4月	出資の総口数及び総額の変更登記
7月	役員に関する事項の変更登記
7月	営業地区の変更登記

〔庶務事項〕

2023年 4月 8日	「ヨシタケシンスケ展かもしれない」協賛（～5/7）
6月 15日	サマーキャンペーン定期預金発売
7月 21日	営業区域を鳥取県内全域に拡大
7月 28日	「ディスクロージャー誌」発行
8月 1日	うつぶき支店昼休業導入
8月 17日	令和5年台風7号に伴う災害等に関する相談窓口設置（～9/30）
10月 23日	e-dash株式会社と提携契約の締結
11月 13日	羽合支店を倉吉駅前支店に統合
11月 15日	ウィンターキャンペーン定期預金発売 遺言・相続全国一斉無料相談会開催
11月 27日	「ミニディスクロージャー誌」発行
12月 13日	社会福祉施設等へ新米寄贈
2024年 1月 18日	「ダイハツ工業の出荷及び生産停止」に関する相談窓口設置（～3/31）
1月 18日	「令和6年能登半島地震」に関する相談窓口設置
1月 19日	西出張所ATM廃止
2月 1日	スマホ決済サービス「Bank Pay」取扱開始
2月 21日	「ことり送金」取扱開始



倉吉信用金庫 SDGs宣言

倉吉信用金庫は、協同組織の理念である相互扶助の精神並びに「地域社会繁栄への奉仕」「中小企業の健全な発展」「豊かな国民生活の実現」という信用金庫のビジョンのもと、事業活動を通じてSDGs（持続可能な開発目標）の達成に貢献し、持続可能な地域社会の実現を目指します。

重点項目

1 パートナーシップの発揮

- 協同組織として、パートナーシップの発揮や地域社会とのネットワークの更なる強化に努め、地域全体で持続可能な社会の実現を目指します。
- 複雑化、多様化する地域社会の課題やニーズに適切に対応するため、全国の信用金庫や中央機関等との業界ネットワークを積極的に活用することで、地域の制約を超えた質の高いサービスの提供に努めます。



2 地域経済の持続的繁栄

- 社会経済環境に応じて変化するお客さまのニーズや課題を踏まえた信用金庫らしいサービスの提供に努め、地域とともに持続的な発展を目指します。
- 中小零細事業者の経営サポートを一段と強化し、事業活動の持続可能性を高めることを通じて、地域経済の維持・発展に貢献します。
- 技術革新や社会構造の変化を踏まえ、先進的な金融サービスの提供への取組みを通じて地域経済の発展に貢献します。
- 地域の将来を担う次世代の人材確保や育成につながる取組みをサポートします。



3 暮らしやすい地域社会の実現

- 地域を支えるみなさまの健康や福祉の増進につながる取組みに努めます。
- 高齢のお客さまにとって、わかりやすく利用しやすい金融サービスの提供を目指します。
- 地域のみなさまの将来に向けた安定的な資産形成をサポートします。
- 地域や関係機関との連携のもと、犯罪や不正の防止につながる取組みに努めます。
- 地域の貴重な資源である環境の保全につながる事業や取組みをサポートします。
- 職員にとって働きやすく多様な価値観を大切にす職場環境の実現に努めます。





おっ得！

取扱期間
2024.6.1～2024.8.31

※ただし総額 15 億円に達した時点で終了します。

期間中に、定期預金1年、3年、5年の期間で10万円以上の新規契約いただくと、上記キャンペーン金利を適用させていただきます。



くらしん特別金利定期預金

<当金庫で給振または年金受取の方>
<通帳レス口座に定期契約される方>

5年	0.39	%
3年	0.32	%
1年	0.11	%

<上記以外の方>

5年	0.35	%
3年	0.30	%
1年	0.08	%

通帳レス口座では
1,000円以上の預入から
特別金利定期預金の利息が
付きます!!



※商品についての詳細は各営業店の窓口または渉外担当者へご確認ください。



KURASHIN
KURAYOSHI SHINKIN BANK

店舗のご案内

店舗名	住所	電話番号	店舗営業日	ATM稼働時間 平日 休日
本店営業部	鳥取県倉吉市昭和町1丁目60番地	0858(22)6108	月～金曜日	8:00～21:00 9:00～19:00
三朝出張所	鳥取県東伯郡三朝町大瀬1036-4	0858(43)2111	火・木曜日 (昼休業11:40～12:40)	8:00～19:00 9:00～19:00
うつぶき支店	鳥取県倉吉市大正町1075-4	0858(22)4154	月～金曜日 (昼休業11:40～12:40)	8:00～19:00 9:00～19:00
浦安支店	鳥取県東伯郡琴浦町浦安213-2	0858(52)2351	月～金曜日	8:00～20:00 9:00～19:00
由良出張所	鳥取県東伯郡北栄町由良宿551-4	0858(37)3711	月・水・金曜日 (昼休業11:40～12:40)	8:00～19:00 9:00～19:00
倉吉駅前支店	鳥取県倉吉市上井町2丁目3-9	0858(26)2951	月～金曜日	8:00～21:00 9:00～19:00
羽合出張所	鳥取県東伯郡湯梨浜町田後340-3	0858(35)2641	月～金曜日 (昼休業11:40～12:40)	8:00～21:00 9:00～19:00
東郷出張所	鳥取県東伯郡湯梨浜町龍島536-3	0858(32)0631	月・水・金曜日 (昼休業11:40～12:40)	8:00～19:00 9:00～19:00
西倉吉支店	鳥取県倉吉市西倉吉町20-15	0858(28)3111	月～金曜日	8:00～21:00 9:00～19:00
西倉吉支店関金出張所	鳥取県倉吉市関金町関金宿247-1	0858(45)3121	火・木曜日 (昼休業11:40～12:40)	8:00～19:00 9:00～19:00
真庭支店	岡山県真庭市蒜山下徳山43-3	0867(66)4368	月～金曜日 (昼休業11:40～12:40)	8:45～19:00 9:00～19:00
本部	鳥取県倉吉市昭和町1丁目60番地	0858(22)1111		

店外ATMコーナー

倉吉市役所第2庁舎出張所	鳥取県倉吉市堺町2丁目253番地1	8:00～21:00 9:00～19:00
パープルタウン出張所	鳥取県倉吉市山根557-1	9:00～21:00 9:00～19:00
アパート出張所	鳥取県東伯郡琴浦町八橋371	9:00～20:00 9:00～19:00